

FFP-PRG-80C

CASIO「XJ-UT351W / XJ-UT351WN」対応

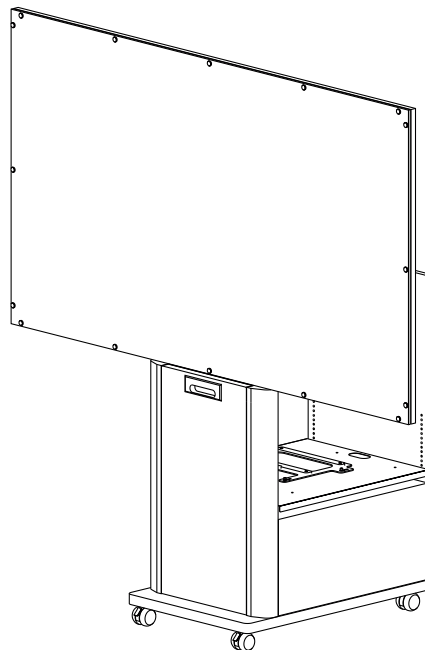
Prography

- プログラフィ -

取扱説明書



T2017.05.23 第4版



安全上のご注意

必ずお守りください

ご購入ありがとうございます





ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。また、本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社 TEL：03-3636-0011 URL：http://www.forvice.co.jp Mail：info@forvice.co.jp







■お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	---

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

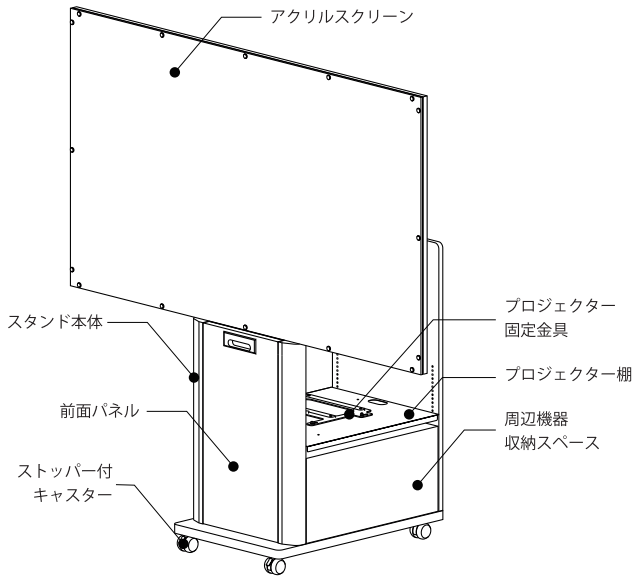
 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

警告・注意

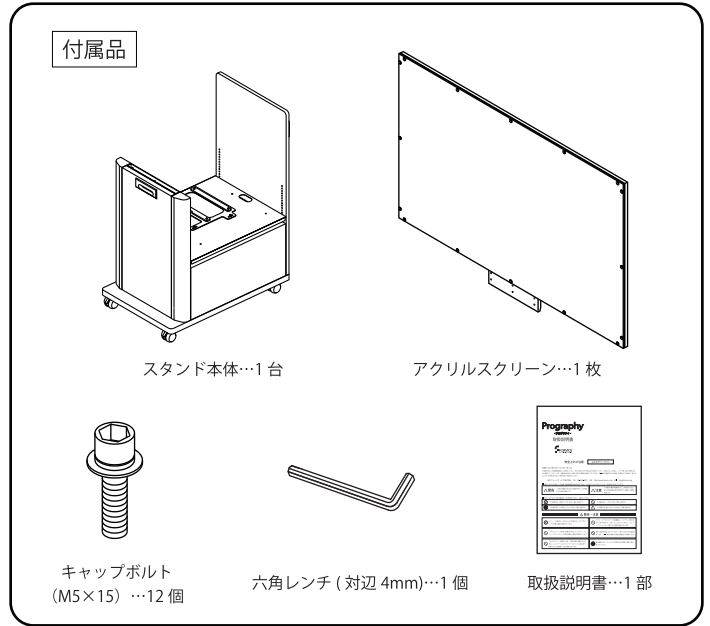
 スクリーンの取付は、必ず2人以上で作業を行ってください。1人での作業は事故の原因となります。	 スクリーン/プロジェクターの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。スクリーン/プロジェクターの落下など事故の原因となります。
 「プログラフィ」の改造・変更は行わないでください。スクリーン/プロジェクターの落下破損など事故の原因となります。	 壊れた部品を使用しないでください。落下によるけがの原因となります。万一、部品が壊れた場合は販売店にご相談ください。
 「プログラフィ」を傾斜した場所、不安定な場所に設置しないで下さい。スクリーン/プロジェクターやスタンド本体の落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。	 安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。

Prography 各部名称・付属品

-プログラフィ-

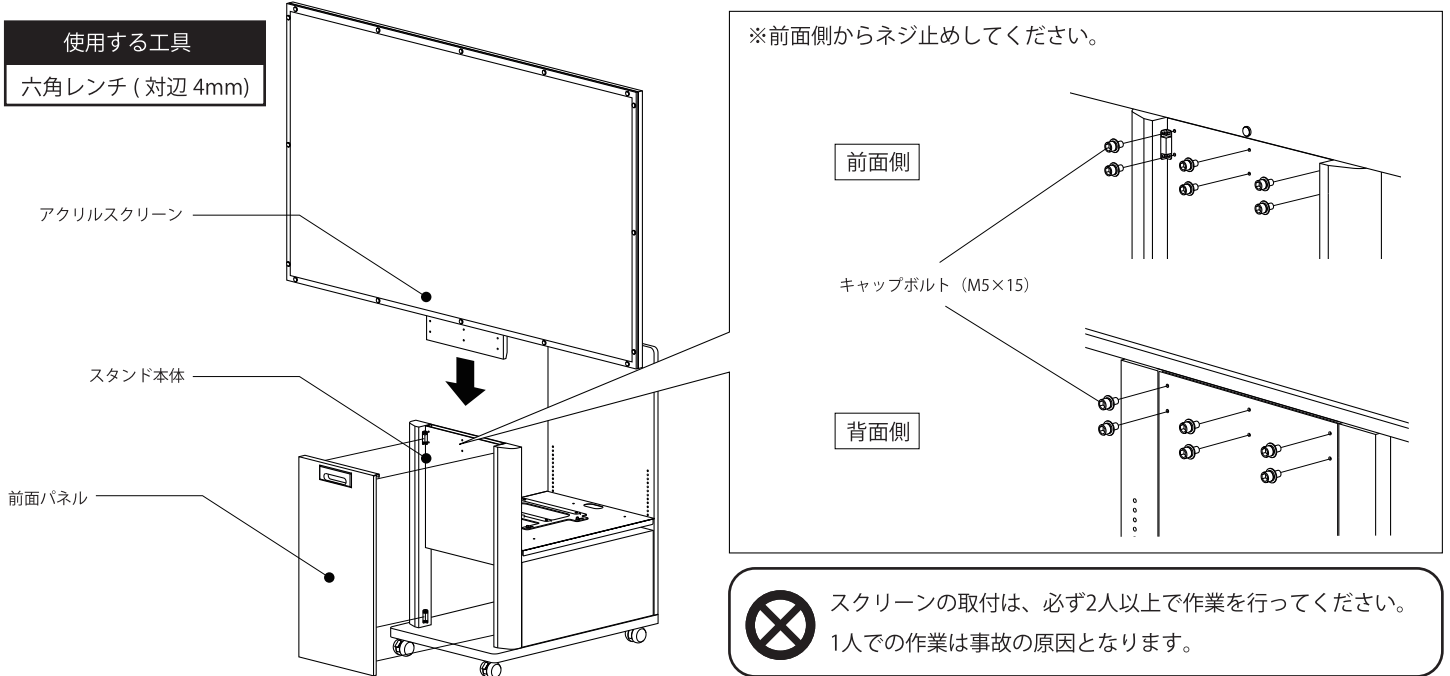


■製品仕様
 型番：FFP-PRG-80C 製品重量：85kg (スタンド本体 60kg アクリルスクリーン 25kg)

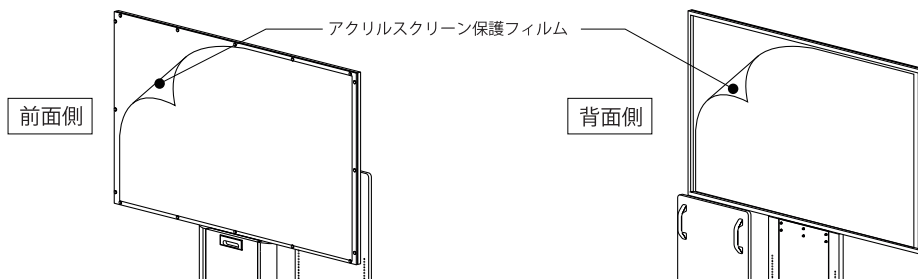


1 「アクリルスクリーン」を「スタンド本体」に取り付けます。

I. 「スタンド本体」の「前面パネル」を外し、「アクリルスクリーン」を「スタンド本体」前側にある溝にはめ込んでください。その後、六角レンチで「キャップボルト (M5×15)」12本を使用し、「アクリルスクリーン」と「スタンド本体」を前面、背面の順番に固定してください。

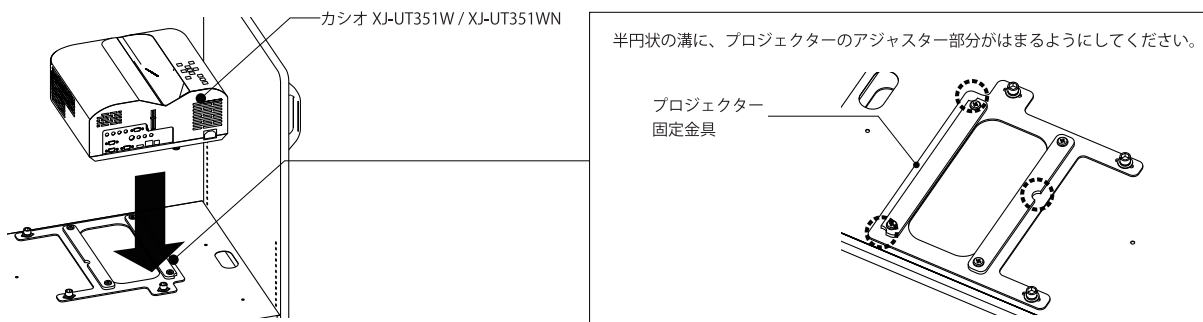


II. 「アクリルスクリーン」の保護フィルムを前面側・背面側ともにはがしてください。



2 プロジェクターの設置を行います。

- I. プロジェクター「XJ-UT351W/XJ-UT351WN」の配線カバーを外し、底面のアジャスター3箇所を「プロジェクター固定金具」の半円状の溝にはまるよう設置してください。



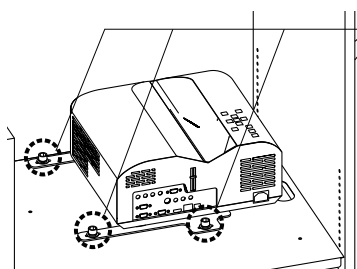
- II. プロジェクターの電源を入れ、スクリーンへの投影を行ってください。この時、投影される映像のアスペクト比を「16:9」に設定してください。映像にズレがある場合やピントが合っていない場合は、各種調整を行います。
 ※映像の調整が必要ない場合は、5ページの「3. 各種ケーブル・周辺機器をスタンド内部に収納します。」に進んでください。

プロジェクター固定位置の調整

投影される映像にズレがある場合は、プロジェクター位置の調整を行います。「プロジェクター固定金具」と「プロジェクター棚」を固定している「キャップボルト (M5×15)」3本を六角レンチで緩めてください。その次に、投影される映像を確認しながらプロジェクター位置を前後に調整してください。また、映像が台形に歪む場合は、プロジェクター底面のアジャスターの高さを調整してください。

使用する工具

六角レンチ (対辺4mm)



キャップボルト (M5×15) 3本を六角レンチで緩めてください。

※出荷時にネジを止めてある位置が計算上の標準の投影位置となります。

<p>映像がはみ出す場合</p> <p>プロジェクトを前側へ移動</p>	<p>映像が小さい場合</p> <p>プロジェクトを後側へ移動</p>	<p>映像が上方に歪んでしまう場合</p> <p>プロジェクトの前側が高くなるようにアジャスターを調整</p>	<p>映像が下方に歪んでしまう場合</p> <p>プロジェクトの後側が高くなるようにアジャスターを調整</p>
<p>映像の左上または右下にすき間ができる場合</p> <p>プロジェクトの左側が高くなるようにアジャスターを調整</p>	<p>映像の右上または左下にすき間ができる場合</p> <p>プロジェクトの右側が高くなるようにアジャスターを調整</p>		

※必要に応じてプロジェクター付属のリモコンで映像の微調整を行ってください。リモコンによる映像の調整方法は、プロジェクターに付属する取扱説明書をご確認ください。

固定金具とアジャスターだけで調整しきれなかった場合

固定金具とアジャスターだけで調整しきれなかった場合、以下の作業を行ってください。

映像を上下方向に微調整したい場合



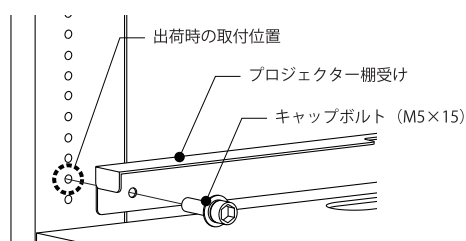
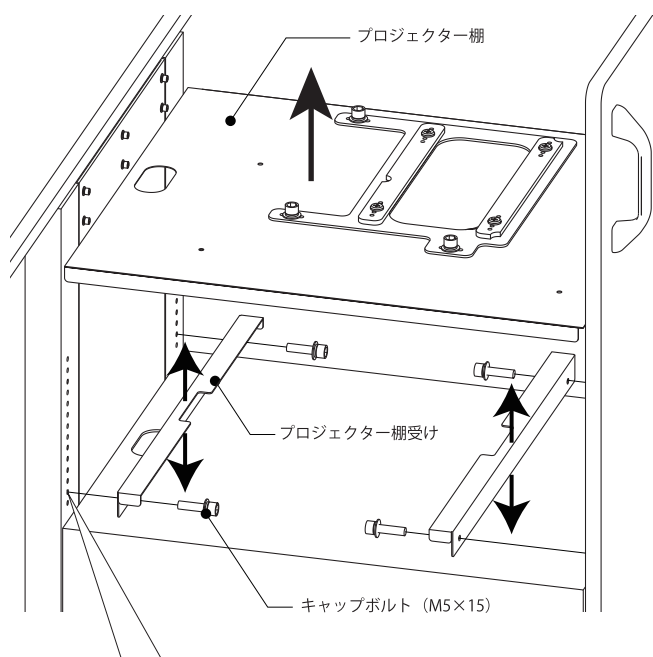
映像を上方向に微調整したい場合は、「プロジェクター棚」を上方向へ移動。

映像を下方向に微調整したい場合は、「プロジェクター棚」を下方向へ移動。

「プロジェクター棚」の位置を調整する際は、まず「プロジェクター棚」を取り外し、「プロジェクター棚受け」を「六角レンチ（対辺4mm）」で上下に移動させてください。その後、再度「プロジェクター棚」を載せてください。

使用する工具

六角レンチ（対辺4mm）



「プロジェクター棚受け」の出荷時の取付位置は「下から2番目」となります。出荷時の位置が、計算上の標準の投影位置となります。



プロジェクター本体を載せたまま、プロジェクター棚を移動しないでください。プロジェクターの落下破損など事故の原因となります。

映像を左右方向に微調整したい場合



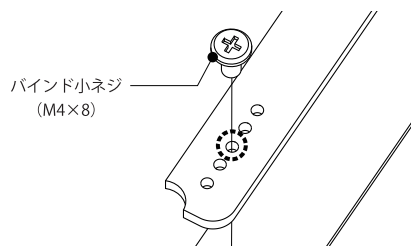
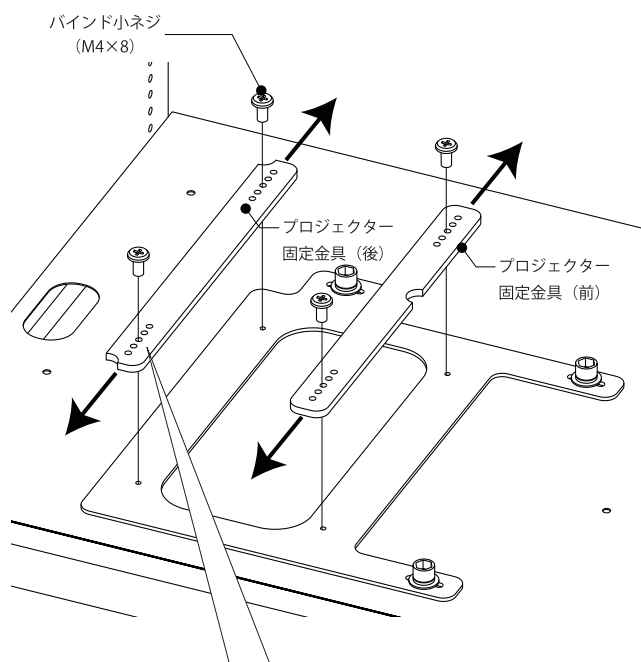
映像を左方向に微調整したい場合は、「プロジェクター固定金具（前・後）」を左方向へ移動。

映像を右方向に微調整したい場合は、「プロジェクター固定金具（前・後）」を右方向へ移動。

「プロジェクター固定金具（前・後）」の位置を調整する際は、「バインド小ネジ（M4×8）」を「プラスドライバー（別売）」で取り外して左右に移動させてください。

使用する工具

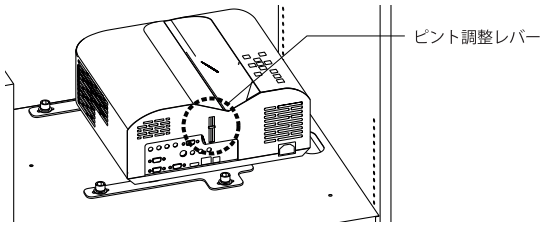
プラスドライバー（別売）



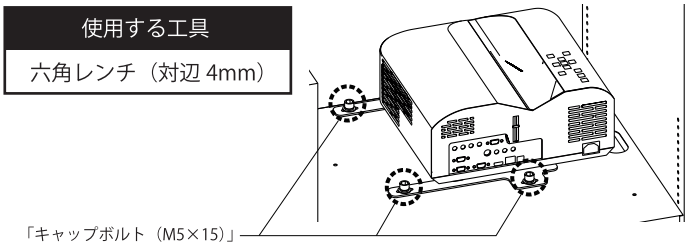
「プロジェクター固定金具（前・後）」の出荷時の取付位置は「各5ヶ所ある取付穴の中央」となります。出荷時の位置が、計算上の標準の投影位置となります。

ピントの調整

ピントが合っていない場合は、プロジェクターのピント調整レバーを使用してピントを合わせてください。

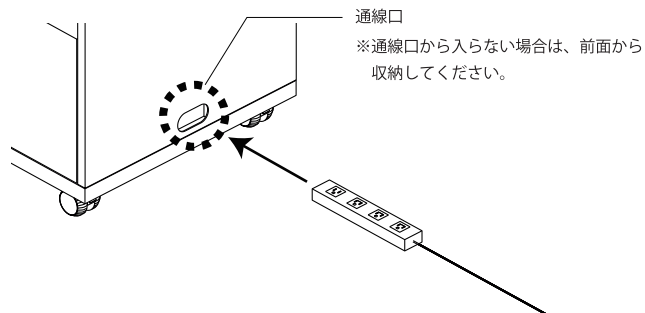
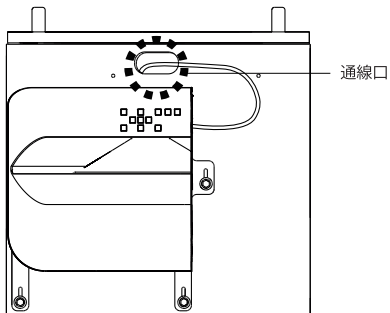


Ⅲ. 調整のために緩めていた「キャップボルト (M5×15)」3本を六角レンチで本締めします。

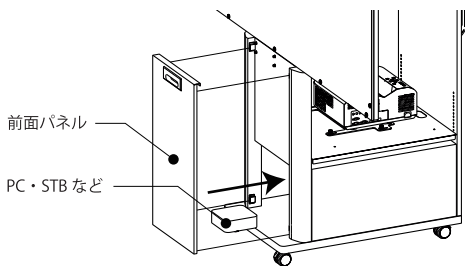


3 各種ケーブル・周辺機器をスタンド内部に収納します。

各種ケーブルを通線口からスタンド内部に収納することができます。また、電源タップ (別売) をスタンド背面の通線口から収納することができます。



前面パネルを取り外して、PC や STB などの周辺機器を収納することができます。



配線等が完了しましたら、プロジェクターの配線カバーを取付けて下さい。(任意)
※うまくはまらない場合は、プロジェクターを持ち上げながら取付けてください。

